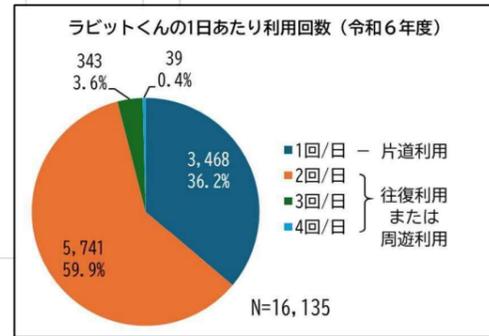
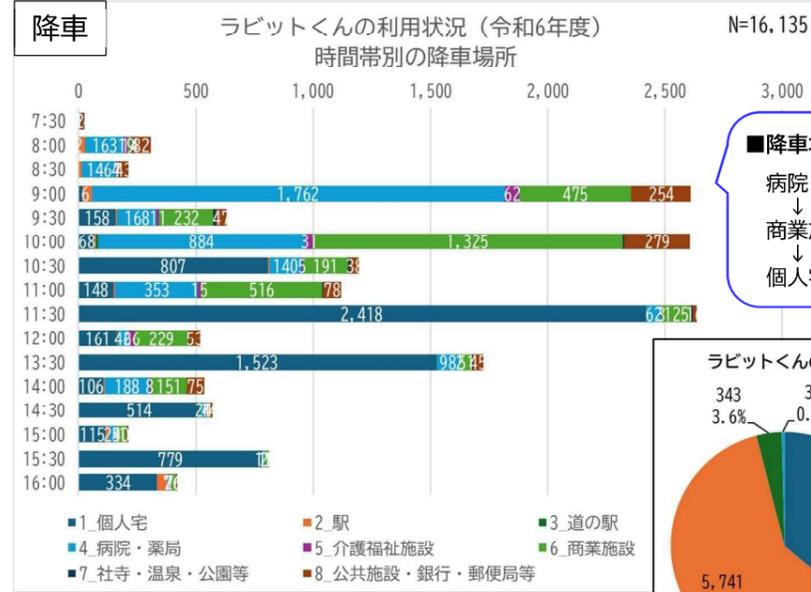
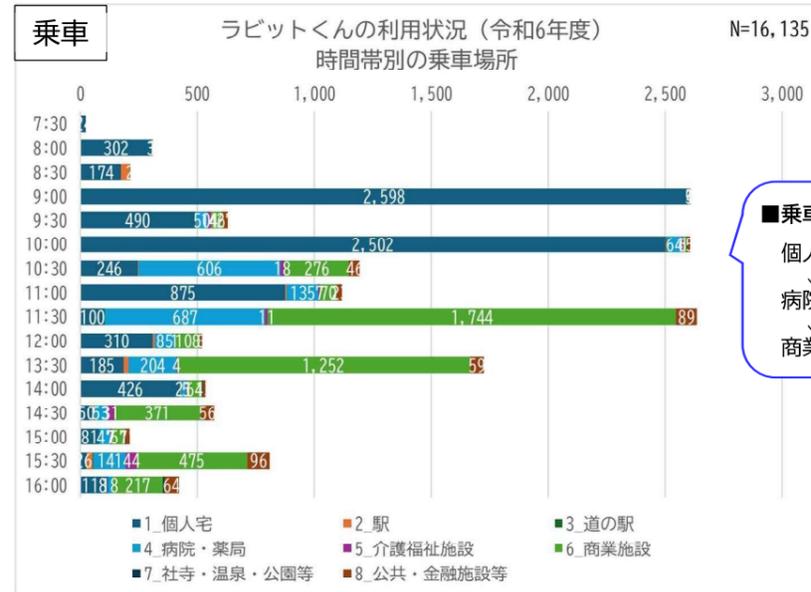


【参考】「ラビットくん」の乗降データからみた課題

■利用状況（令和6年度：R6.4.1-R7.3.31）

- ・ラビットくんのアクティブ利用者は550人、年度全体での利用件数は延べ16,135件でした。
- ・まず時間帯別の乗降状況と、利用者ID別の1日あたり利用回数をグラフ化しました。これらを見ると、個人宅から病院・薬局または商業施設への片道利用（約36%）や往復利用（約60%）が多い状況です。また、件数は少ないながら、個人宅から病院・薬局、商業施設等を経由して帰る周遊利用（約4%）もみられます。よって、「周遊」や「帰路」に課題があると考えられます。
- ・その他、07～08時台の利用は少ない、角田駅等での乗降は少ない等の状況も読み取れます。



■発着分析

- ・「周遊」や「帰路」の詳細をみるため、「自宅からどこに行くか」「病院・薬局や商業施設からどこに行くか」「帰宅する時はどこから乗るか」を時間帯別に集計しました。なお、全件数を比べると、「行き」が計8,507件、「帰り」が計7,149件であり、帰りの方が1,358件（約26%）少ない状況です。
- ・時間帯別にみると、09:00便や10:00便など午前中に病院・薬局や商業施設に行く「利用の第一波」が多く、次いで、午前後半の出発、午後前半の出発、病院・薬局等からの周遊利用など、数次の波があるとみられます。全体に時間帯が遅くなるにつれて利用が少なくなる傾向がみられます。

